

森山通信 VOL.19



平成 28 年第 1 回定例議会において、公明党市議団の代表質疑を行いました。
取り上げさせて頂いた項目の内、3 項目についてご報告いたします。
また、詳しくは、森山かずひろ公式 HP (<http://moriyama-kazuhiro.com/>)
をご覧ください。



①介護ロボットの活用について

これまでの一般質問においても、介護器材や介護ロボット等を介護現場に導入することに対して、本市はどのように捉えているのかなど、介護ロボット等を介護現場に取り入れることを求めて参りました。

Q 質問

介護現場における介護ロボット導入と開発のマッチングを促進させる取り組みは？



A 答弁

腰痛防止や徘徊高齢者の見守り支援を行う介護ロボットを施設等で活用することは、介護従事者の負担を減らし、労働環境を改善することにつながり、人材の確保や定着、質の向上に寄与するものと考えております。

千葉市では介護ロボットの活用について情報収集をして参りましたところ、ここ数年の技術の進展により介護従事者の負担軽減に有効な介護ロボットの開発や低価格化が進んだこと、またテレビニュースなどにより介護ロボットに対する一般の理解が進み、介護する側とされる側の抵抗感が、少なくなったことから導入を促進する環境が整ってきたものと考えております。

介護力不足を補うための有力な手段として介護ロボットを普及させる方針で、国の助成制度を活用してロボット導入費用について介護施設などに助成を行う事業を実施します。



②子どもの貧困対策について



平均的な所得の半分にも満たない家庭で暮らす 18 歳未満の子どもは、平成 25 年国民生活基礎調査の発表では 16.3%で、子どもの 6 人に 1 人が貧困状態であるとの調査結果が出ています。

Q 質問

子どもの貧困対策として取り組もうとしている方向性と内容は？



A 答弁

取り組みの方向性としては、「貧困の連鎖を防ぐための教育の支援」、「保護者や子どもに対する生活の支援」、「保護者に対する就労の支援」、「ひとり親家庭等への経済的な支援」などの視点を持って取り組みます。

また、取り組むべき内容については、国が子ども貧困対策として、新たにまとめた「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」の動向を注視しつつ、本市の実情にあった施策を検討し、子どもの貧困対策に着実に取り組んで参ります。

③旧市立病院跡地の利活用について



この課題については、これまでも再三にわたって議会で取り上げ、市民の皆さまにきちんとした具体案を提案すべきと強く要望してきたところであります。

Q 質問

今後の利活用に関する基本的な考え方について？

A 答弁

現在の旧市立病院跡地の一部は、青葉病院職員の有料駐車場として利用していることから、引き続き職員駐車場として活用すること、また地元要望および市内の利活用要望については、必要性や緊急性の観点に加え、病院事業が厳しい経営状況下にあるため、建物解体撤去費の負担など病院事業会計への影響も踏まえ、利活用について検討しました。

▼旧市立病院跡地の有料駐車場



Q 質問

利活用検討の結果は？



A 答弁

新たに青葉病院の患者用臨時駐車場として活用するほか、市道中央星久喜町線を千葉大学亥鼻キャンパス側へ拡幅するための代替地として利用することとしました。

この市道中央星久喜町線は、近隣小学校の通学路となっていますが、歩道がなく、路線バスなどの車両が歩行者や自転車のすぐ脇を走行している状況であり、交通事故も多く発生していることから、現況の道路幅員7mを12mから15mに拡幅して歩行者、自転車の安全を確保するものであり、他の利活用要望よりも必要性や緊急性が高いと判断したものです。

▼市道中央星久喜町線



これからも皆様の声をカタチにすべく、全力で頑張っています！
市政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

【QRコード=ホームページ】
<http://moriyama-kazuhiro.com/>



公明党千葉市議会議員団

森山かずひろ

TEL: 043-245-5483
FAX: 043-245-5584